



TG Grand Vision 150

東北学院中長期計画及び 第Ⅲ期中期計画(2026～2030年度)

ゆたかに学び 地域へ 世界へ
—よく生きる心が育つ東北学院—

 学校法人 東北学院

東北学院大学
東北学院中学校・高等学校
東北学院榴ヶ岡高等学校
東北学院幼稚園

| Message

比類なき学校を目指して

学校法人東北学院

理事長 **原田 善教**



世界では未だ悲惨な争いが絶えず、権威的指導者がさらなる混迷を導いています。加えて自然環境の激変が災害を増幅し、世界を一層不安定な状況に追い込んでいます。日本の少子化は予想をはるかに超えるスピードで進行し、「私立学校危機の時代」が急速に進んでいます。まさに先の見通せない時代に私たちは生きています。

こうした時代状況の下、東北学院は常にその基盤として建学の精神とスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」を持ち、それを道標として前に進んできました。この基盤こそがTG IDENTITYにほかならず、本院に連なるすべての人々が基底に固持し確立しておかなければならない原点です。本院は、これを出発点として2015年度に東北学院中長期計画TG Grand Vision 150を策定し、創立150周年(2036年)を迎えるまでの20年間のロードマップを示しました。TG Grand Vision 150は、まさに「社会から選ばれる学校」=東北・北海道地区で「比類なき学校」としての東北学院を実現するための「導きの糸」に他なりません。

2026年度から第Ⅲ期中期計画(2026~2030年度)がスタートします。大学では、高等教育機関として教育の質向上・質保証を確立する取組が進められます。大学改革の重点項目は、①地域連携教育、②AI・IT教育、③グローバル教育、④アントレプレナーシップ教育、⑤リカレント・リスキリング教育の5つです。そのために2028年4月供用開始を目指して五橋・土樋の中間地点に新棟を建設します。これは2027年4月開設予定の新学部とともに第Ⅲ期中期計画の中核となるものです。

中学校・高等学校では、「未来学力」をキーワードとする教育改革を着実に進めます。榴ヶ岡高等学校は、旧大学泉キャンパスへの移転による教育環境の充実に基づいて一層の教育改革を進めます。両校とも教員相互の研修を通じて教育内容・方法を一層充実させ、中高大連携を基盤にAI・IT教育を活用した探究学習の重点化・高度化を進めます。幼稚園では、園児の非認知能力の向上に向けての取組を中高大連携に基づいて充実させ、そのプレゼンスを高めます。

以上のように、第Ⅲ期中期計画においてもリスクを恐れず積極果敢に挑戦し、様々な教学・経営改革を進めてまいります。



| TG Grand Vision 150 (東北学院中長期計画) とは

本院では、創立150周年を迎える2036年に向けた中長期計画「TG Grand Vision 150」を、2016年度より推進しています。建学の精神であるキリスト教人格教育とスクールモットー「LIFE LIGHT LOVE」を礎に、ビジョン「ゆたかに学び 地域へ 世界へーよく生きる心が育つ東北学院ー」を掲げました。この実現に向け、20年間の展望を4フェーズに分け、着実な歩みを続けています。2026年度始動の「第Ⅲ期中期計画」では、これまでの成果を基盤に、法人事務局および各設置学校がそれぞれの役割を通じて5か年の目標達成を目指します。



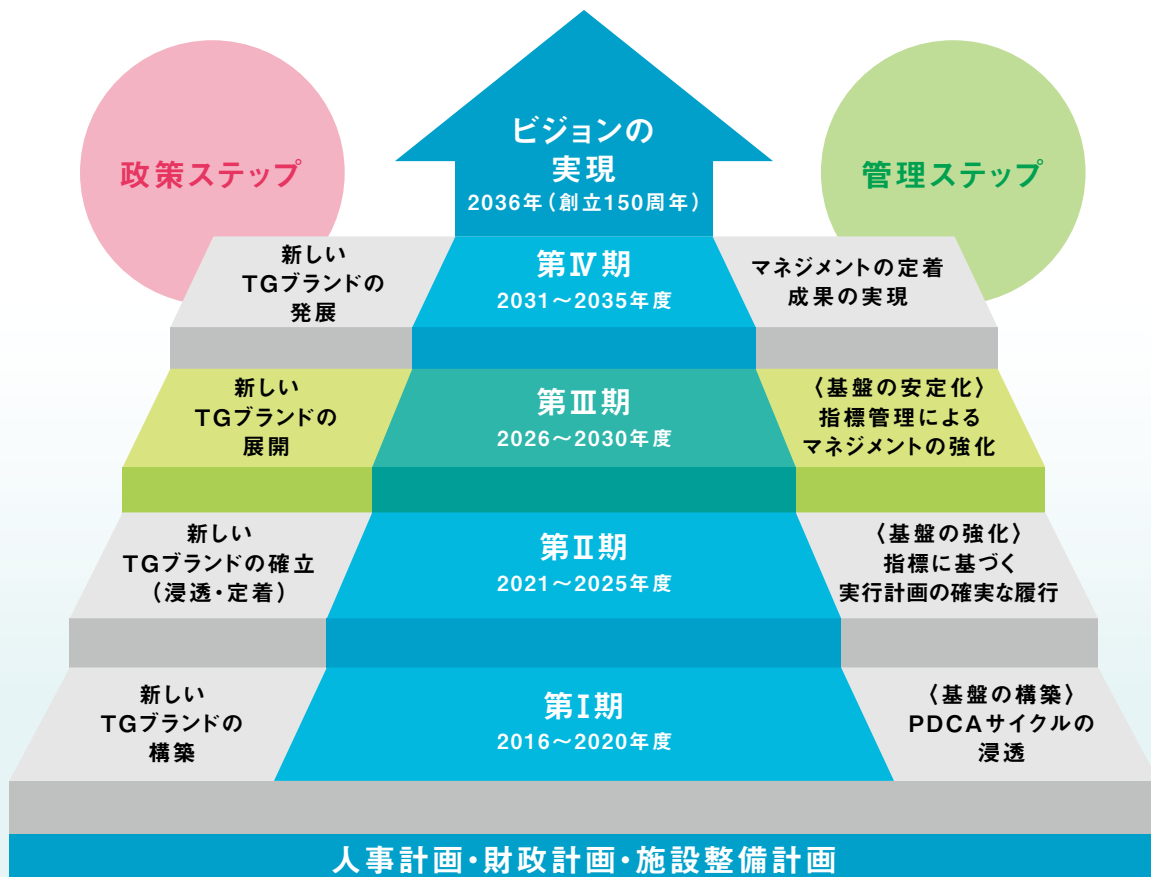
| ビジョン(法人全体における2036年の将来像)

ゆたかに学び 地域へ 世界へーよく生きる心が育つ東北学院ー

このビジョンは、東北学院の各設置学校で学ぶ学生・生徒・園児一人ひとりが、建学の精神である「キリスト教による人格教育」を基礎として、柔軟な思考力と幅広い視野を養い、ゆたかに学び、自ら成長することを示すものです。

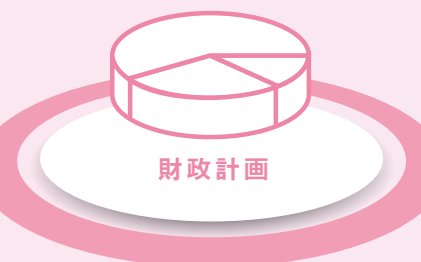
東北学院は、歴史と伝統に基づく教育機関として、地域へ世界へ奉仕し、貢献する人材を育成する社会から選ばれる学校であり続けます。

| ビジョンの実現に向けたステップ



TG Grand Vision 150 第Ⅲ期中期計画 推進フレームワーク

学校法人東北学院は「社会から選ばれる学校」の実現に向け、新たな価値を創造する「4つの柱」を軸に据えました。また、この戦略を遂行する「人事」「財政」「施設整備」の法人全体の計画が確かな礎となっています。これらの戦略と基盤を一体的に連動させた計画の推進に本院一丸となって取り組んでまいります。



柱

1

学びと成長を
促す環境づくり

政策目標①

知的好奇心と学びの
意欲を深化させる
教育支援

政策目標②

成長実感を
育むための支援

柱

2

地域に根差した
特色の強化

政策目標①

地域・自治体・企業
との連携を通じた
新たな価値創出

政策目標②

アントレプレナーシップ
の育成

柱

3

A L L 東北学院
の推進

政策目標①

一貫教育の推進

政策目標②

同窓生との連携拡大

柱

4

学校法人としての基盤強化

政策目標①

入学生の確保

政策目標②

収入構造の多角化

政策目標③

人的資源の
パフォーマンス向上

東北学院の新たな挑戦

キリスト教による人格教育を基礎として、創立140年の伝統を次代へつなぐため、東北学院は新たな歩みを以下の計画により推進いたします。



学校法人東北学院法人事務局

将来像

「ゆるぎない学校経営で、未来を創る」

学校法人東北学院は、各設置学校の教育を支援し、安定的な学校経営を行うために経営基盤を確立し、社会から選ばれる学校となる。



東北学院大学

将来像

「地域との共創でひらく、未来の扉」

東北学院大学は、都市型キャンパスの特性を活かし、地域と共創しながら、ゆたかな教養と深い専門性を備えた人材を育成する総合大学となる。

柱1:学びと成長を促す環境づくり	
知的好奇心と学びの意欲を 深化させる教育支援	成長実感を育むための支援
A301 学生の学びの意欲と専門性を育む教育・研究の質向上	A304 多様な事情に対応した学びの実現
A302 インクルージョン社会に通ずる教育プログラムの整備(社会人・留学生向け)	A305 学生の学修意欲と能力伸長を促進する教育方法・内容の開発・実装
A303 次世代を見据えた大学院改革の推進	A306 学生参画による学びの環境と機会の創出
B301 主体性を育むための教育方法の開発と実装	B304 建学の精神を具現化するためのキリスト教教育の実践
B302 探究的な学びを充実させるための東北学院大学との連携の強化	B305 生徒の希望進路実現のための指導方法の検討と実装
B303 継続的な留学生の受け入れの推進と、海外研修プログラムの実施	B306 多様性に対応した教科指導、生徒指導方法の検討と実装
C301 進路希望に寄り添う学びの提供	B307 生徒の主体性、創造性を育むための生徒会活動、課外活動の充実
D301 学びの意欲を育むカリキュラムの整備	C302 個別最適学習の日常化

柱2:地域に根ざした特色の強化	
地域・自治体・企業との 連携を通じた新たな価値創出	アントレプレナーシップ の育成
A307 地域課題解決型PBL教育の推進	A311 アントレプレナーシップ教育プログラムの推進
A308 大学と地域を繋ぐ知の連携活動の強化	B309 東北学院大学や地域企業と連携したアントレプレナーシップ教育の推進
A309 学生の学びと地域共創による相互活性化	C304 生徒の地域貢献
A310 地域・自治体・企業と連携したリカレント教育プログラムの開発及び実施	
B308 東北学院大学や地域社会と連携した社会貢献活動の立案と実施	
C303 地域研究機関との連携	
D302 地域・社会貢献活動に取り組み、新たな価値の創出	



東北学院中学校・高等学校

将来像

「未来学力を育てる、中高一貫教育」

東北学院中学校・高等学校は、多様性を尊重し、ともに生きる力を育み、主体性、創造性を伸長する未来志向で生徒中心の中学校・高等学校となる。



東北学院榴ヶ岡高等学校

将来像

「伸びる個性、深まる探究心、次世代を支える人材を育成」

東北学院榴ヶ岡高等学校は、主体性を尊重する協働的で個別最適な学習を提供し、力強く社会を生きぬく人材を育成する高等学校となる。



東北学院幼稚園

将来像

「自分らしく、生き生きと」

東北学院幼稚園は、遊びを大切にしながら、神さまに愛され、友だちと仲良く行動し、何事にも意欲的に取り組み、人としての基礎を育む幼稚園となる。

柱3: ALL東北学院の推進

一貫教育の推進

同窓生との連携拡大

A312 B310 C305

中高大一貫教育における学修の連続性強化と高大接続の推進

A316

世代を超えた同窓生の交流強化

A314 B311

中高大一貫教育の成果検証を通じた教育の質的深化

A317

学生のキャリア支援における同窓生ネットワークの活用

A315 C306 D304

園児・生徒・学生の協働によるシナジー効果を生むプロジェクト活動の展開

C307

同窓生からの助言協力

D303

生涯にわたる人格形成の基礎の涵養

柱4: 学校法人としての基盤強化

入学生の確保

人的資源の パフォーマンス向上

A318

受験生のエンゲージメント向上による志願者基盤の拡大

A322

教職員の能力・資質向上のためのプログラムの強化

A319

入試戦略の高度化と推進

A323

イノベーションを育む組織基盤の変革

B312

「社会から選ばれる学校」であり続けるための戦略的な広報活動の展開

B313

教科指導、生徒対応等、教員の能力と資質を向上させるための研修会、授業公開の実施

C308

教育活動の積極的アピール

B314

教員の働き方改革のための、生成AIの活用の推奨と校務のDX化の推進

収入構造の多角化

C310

広く深い知識と技能の獲得

A320

研究力向上のための外部資金獲得支援体制の確立

C311

業務の効率化の推進

A321

戦略的な募金プログラムの確立

D305

さまざまな特性に対応できる教員の専門性の向上

C309

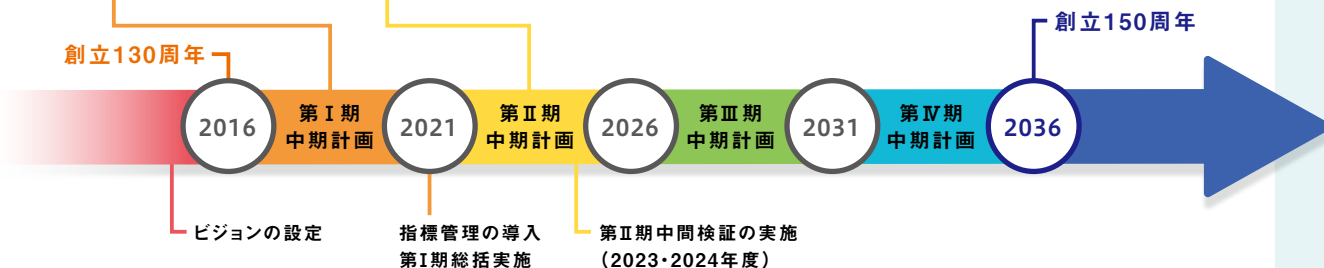
補助金事業採用数の拡大

A 学校法人東北学院法人事務局、東北学院大学 **B** 東北学院中学校・高等学校
C 東北学院榴ヶ岡高等学校 **D** 東北学院幼稚園

TG Grand Vision 150 のこれまでとこれから

第Ⅰ期 2016-2020年度	2016年度	大 学	土樋キャンパス ホーイ記念館完成
		法 人	旧宣教師館(デフォレスト館)重要文化財指定
	2017年度	中学校・高等学校	新コース制の導入
	2018年度	大 学	文学部に教育学科新設
	2019年度	榴ヶ岡高等学校	新コース制の導入

第Ⅱ期 2021-2025年度	2021年度	法 人	スクールモットーの統一、ブランドマーク制定
	2022年度	中学校・高等学校	男女共学化
		幼稚園	創立60周年、子ども子育て支援新制度へ移行
	2023年度	大 学	五橋キャンパス開学 地域総合学部、情報学部、人間科学部、国際学部新設
	2025年度	榴ヶ岡高等学校	旧大学泉キャンパスへ校舎移転



建学の精神

東北学院の三校祖、押川方義、W・E・ホーイ、D・B・シュネーダーは、東北学院の建学の精神を、宗教改革の「福音主義キリスト教」の信仰に基づく「個人の尊厳の重視と人格の完成」の教育にあるとした。

その教育は、聖書の示す神に対する畏敬の念とイエス・キリストにならう隣人への愛の精神を培い、文化の発展と福祉に貢献する人材の育成を目指すものである。

スクールモットー

LIFE LIGHT LOVE

神によって与えられた福音に基づき、人々の命のために仕え、人々に光を与えるために働き、人々を自分のように愛する。

LIFE (いのち) : 有限な生命体の命と、神が自らの似姿として創造された個人の尊厳を互いに大切にすること

LIGHT (ひかり) : 学問や科学の成果によって新しい時代を切り開くこと

LOVE (あ い) : 隣人愛をもって地域や世界に仕えること



学校法人 東北学院

発行: 学校法人東北学院
〒980-8511 宮城県仙台市青葉区土樋一丁目3-1
<https://www.tohoku-gakuin.jp>
発行日: 2026年3月

